



# 中原区区民アンケート 概要版

平成28年9月

## 川崎市中原区

### ○調査の目的

この調査は、区政に対する区民の意識、要望を、地域特性を踏まえて多面的に調査を行うことで明らかにし、調査結果を区政運営や地域課題の解決に係る基礎資料として活用することを目的として実施した。

### ○調査の方法

- (1) 調査地域 川崎市中原区全域
- (2) 調査対象 区内に在住する満18歳以上の男女（外国籍の区民を含む）
- (3) 標本数 2,000サンプル
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 平成28年5月13日（金）～5月30日（月）

### ○調査の項目

- (1) 区民の定住性
- (2) 生活環境評価
- (3) 区役所業務の評価・区のイメージ
- (4) 中原区役所の広報
- (5) 中原区役所の環境
- (6) 地域包括ケアシステム
- (7) 健康づくり支援
- (8) 子育て支援
- (9) 動物の適正飼育
- (10) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

### ○回収状況

- (1) 調査票配布数 2,000
- (2) 有効回収数 977（有効回収率 48.9%）

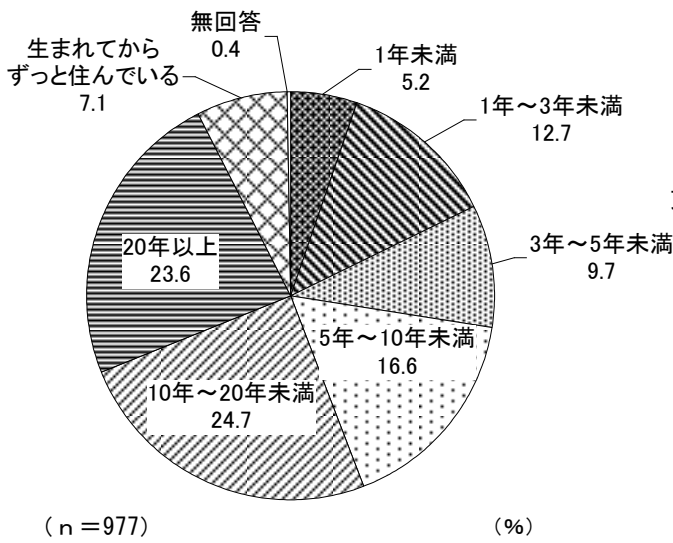
### ○この概要版の見方

図表中の「n」は、各質問の回答者数を示す。回答の比率（%）は、nを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つだけ回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。また、選択肢の中から複数の回答を選ぶ質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。

# 1. 区民の定住性

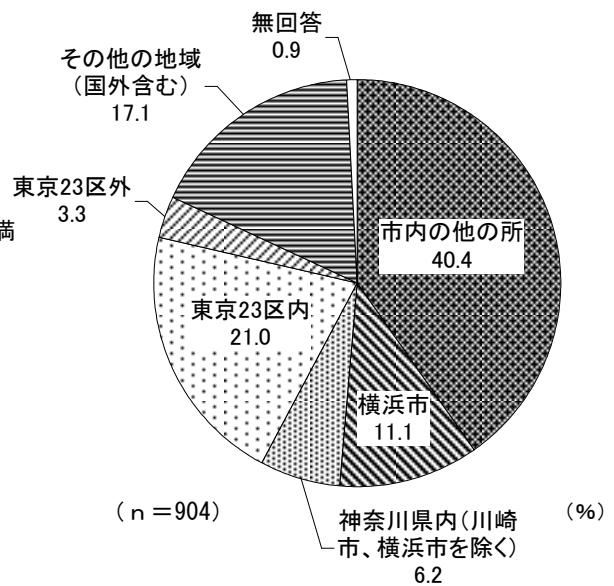
## (1) 居住年数

「5年～10年未満」と「10年～20年未満」の2つを合わせた『中期居住者』(41.3%)が4割を超えて高くなっている。「1年未満」と「1年～3年未満」、「3年～5年未満」の3つを合わせた『短期居住者』(27.6%)は3割近くで、「20年以上」と「生まれてからずっと住んでいる」の2つを合わせた『長期居住者』(30.7%)は約3割となっている。



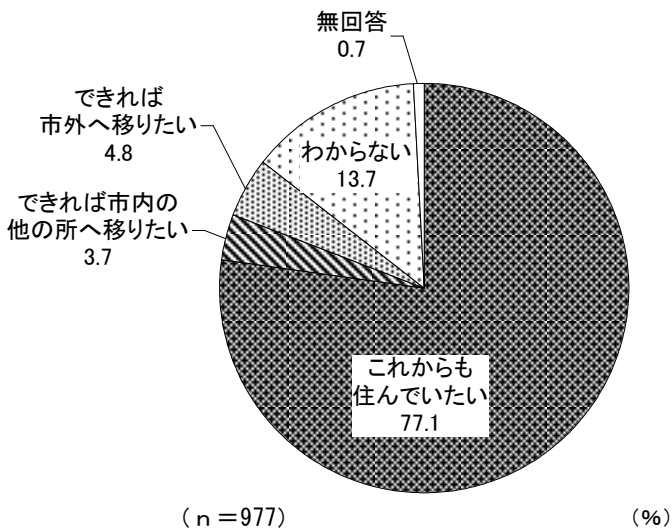
## (2) 以前の居住場所

今の所に「生まれてからずっと住んでいる」以外と回答した方(904人)に、以前の居住場所を聞いたところ、「市内の他の所」(40.4%)が約4割で最も高く、次いで「東京23区内」(21.0%)、「その他の地域(国外含む)」(17.1%)、「横浜市」(11.1%)などの順となっている。



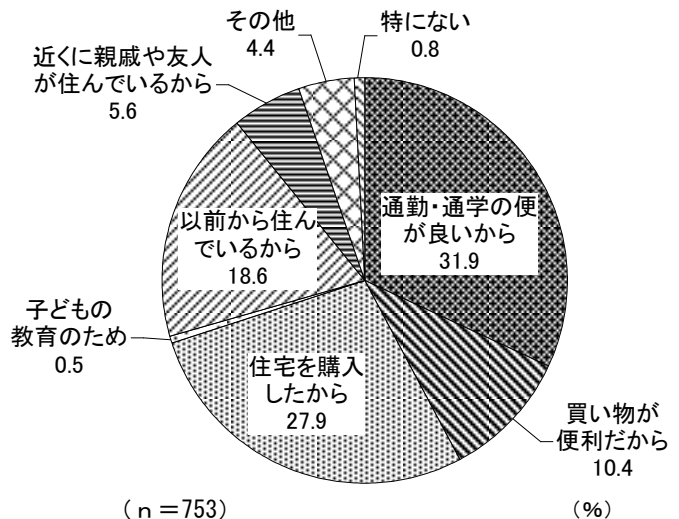
## (3) 定住意向

「これからも住んでいたい」(77.1%)が8割近くで、これと「できれば市内の他の所へ移りたい」(3.7%)を合わせた『市内に住みたい』(80.8%)が約8割と高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」は4.8%となっている。



## (4) 定住したい理由

今の所に「これからも住んでいたい」と回答した方(753人)に、その理由を聞いたところ、「通勤・通学の便が良いから」(31.9%)が3割を超えて最も高く、次いで「住宅を購入したから」(27.9%)、「以前から住んでいるから」(18.6%)などの順となっている。

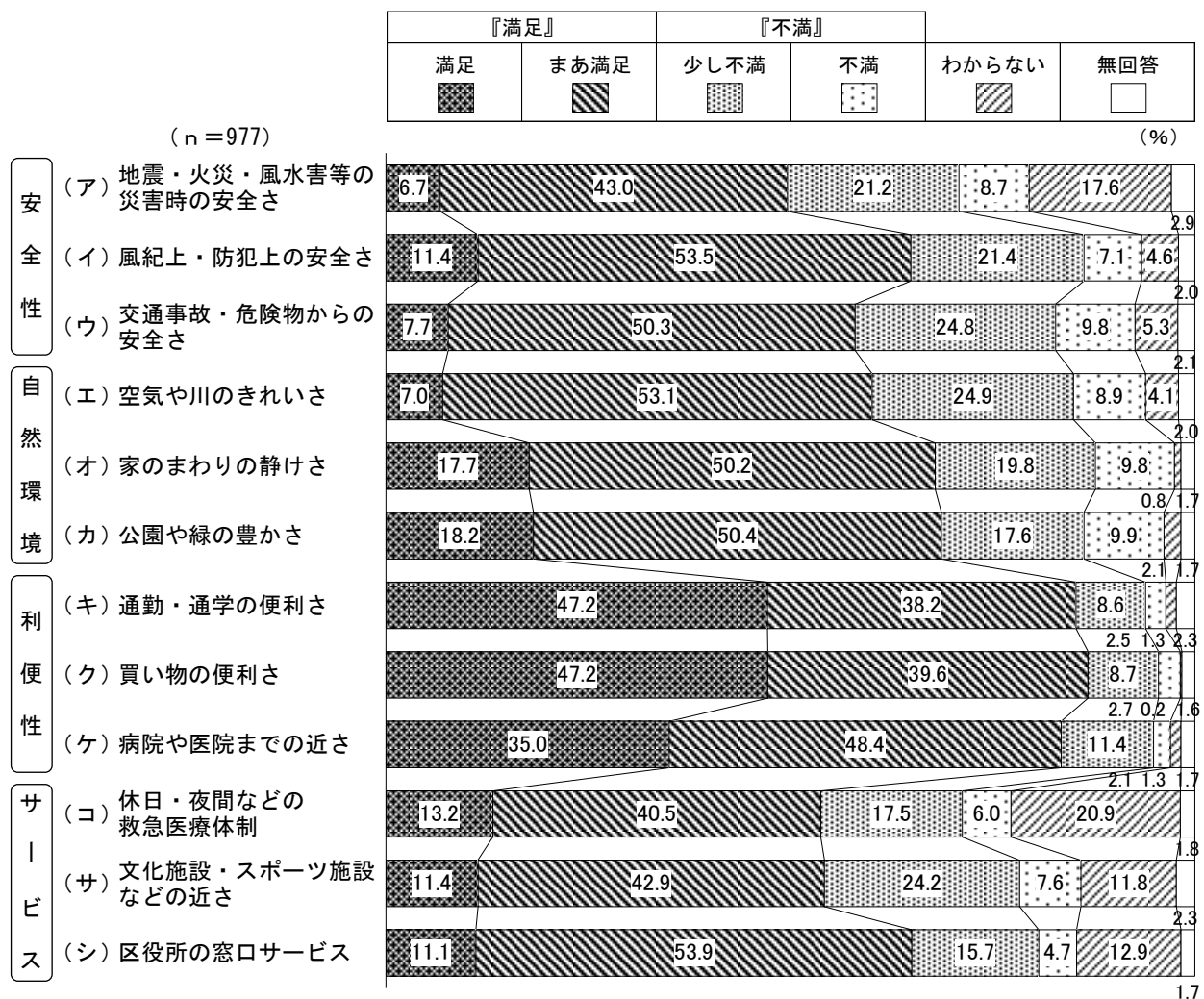


## 2. 生活環境評価

### (1) 生活環境の満足度

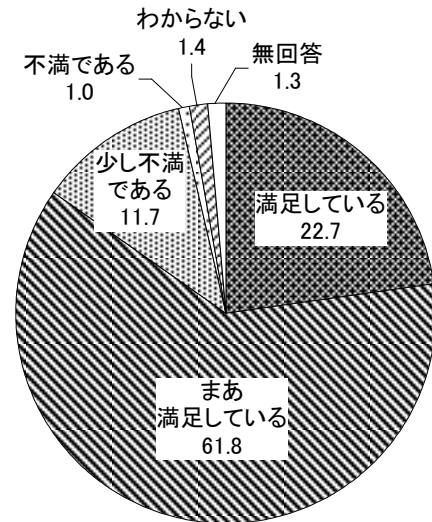
住まいの周辺の生活環境について、12項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』の割合は、(ク) 買い物の便利さ (86.8%) が9割近くで最も高く、次いで(キ) 通勤・通学の便利さ (85.4%)、(ケ) 病院や医院までの近さ (83.4%) などの順となっている。

一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』の割合は、(ウ) 交通事故・危険物からの安全さ (34.6%) が3割台半ばで最も高く、次いで(エ) 空気や川のきれいさ (33.8%)、(サ) 文化施設・スポーツ施設などの近さ (31.8%) などの順となっている。



## (2) 生活環境全体の満足度

地域の生活環境を全体的にみた場合、今住んでいる地域にどの程度満足しているか聞いたところ、「満足している」(22.7%)と「まあ満足している」(61.8%)の2つを合わせた『満足』(84.5%)が8割台半ばで高くなっている。一方、「少し不満である」(11.7%)と「不満である」(1.0%)の2つを合わせた『不満』(12.7%)は1割を超えている。

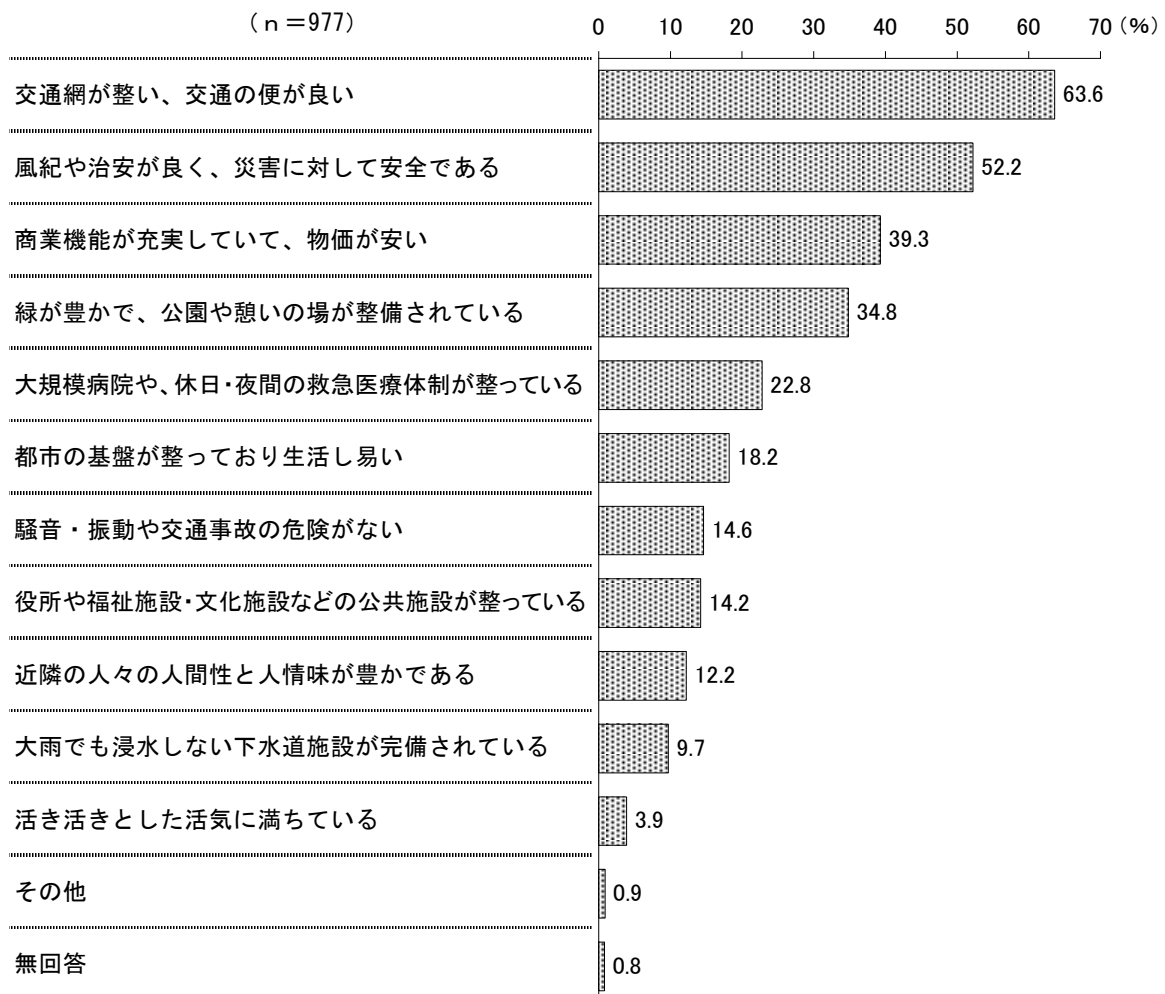


(n=977)

(%)

## (3) 住みよい環境についての意識

住みよい環境とは、どのような所だと思いか聞いたところ、「交通網が整い、交通の便が良い」(63.6%)が6割を超えて最も高く、次いで「風紀や治安が良く、災害に対して安全である」(52.2%)、「商業機能が充実していて、物価が安い」(39.3%)、「緑が豊かで、公園や憩いの場が整備されている」(34.8%)などの順となっている。

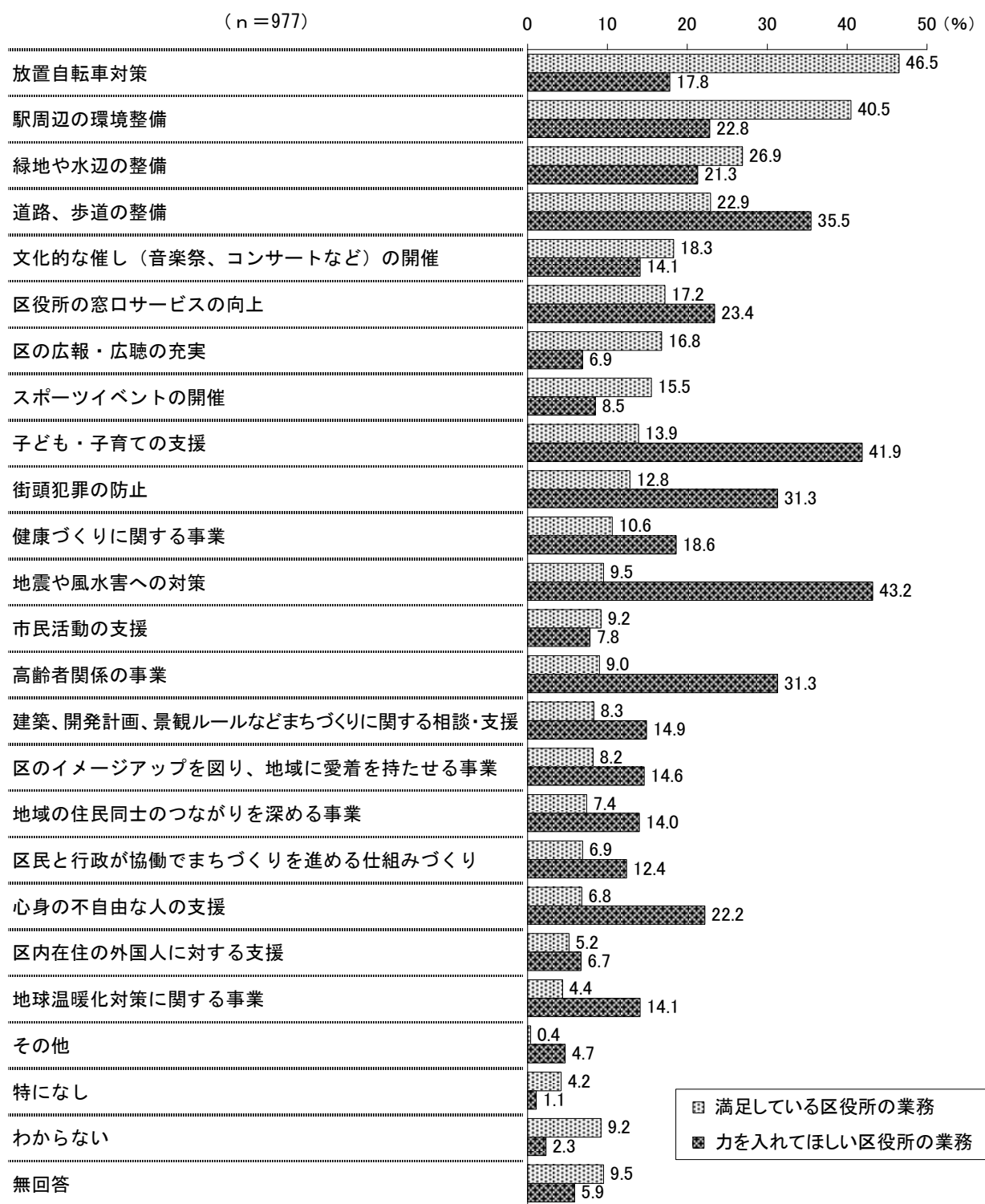


### 3. 区役所業務の評価・区のイメージ

#### (1) 満足している区役所の業務・力を入れてほしい区役所の業務

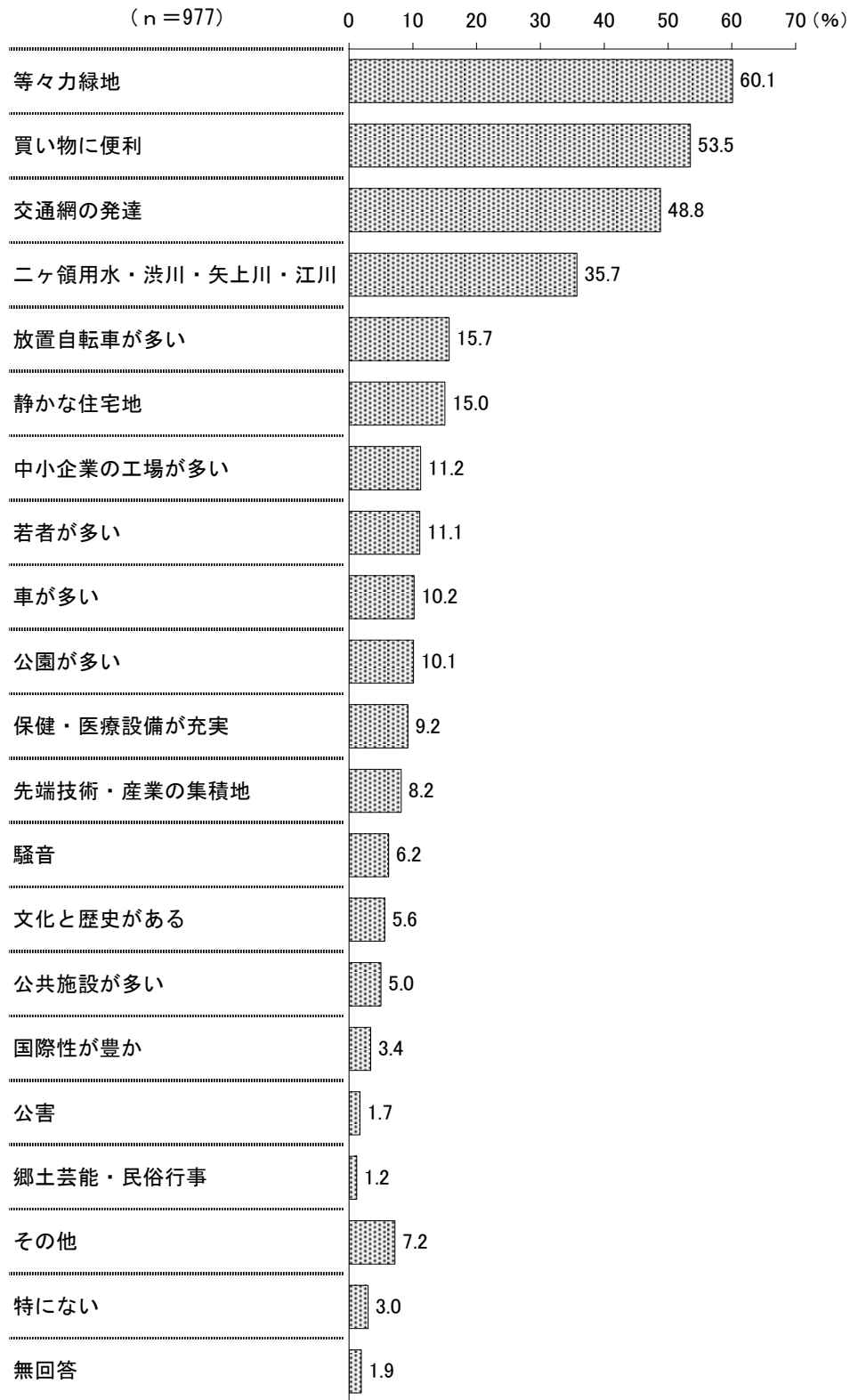
区役所の仕事で、よくやっていると思うものは何か聞いたところ、「放置自転車対策」(46.5%)が5割近くで最も高く、次いで「駅周辺の環境整備」(40.5%)、「緑地や水辺の整備」(26.9%)、「道路、歩道の整備」(22.9%)などの順となっている。

区役所の仕事で、今後、特に力を入れてほしいと思うものは何か聞いたところ、「地震や風水害への対策」(43.2%)と「子ども・子育ての支援」(41.9%)がともに4割を超えて高く、次いで「道路、歩道の整備」(35.5%)、「街頭犯罪の防止」(31.3%)、「高齢者関係の事業」(31.3%)などの順となっている。



## (2) 中原区のイメージ

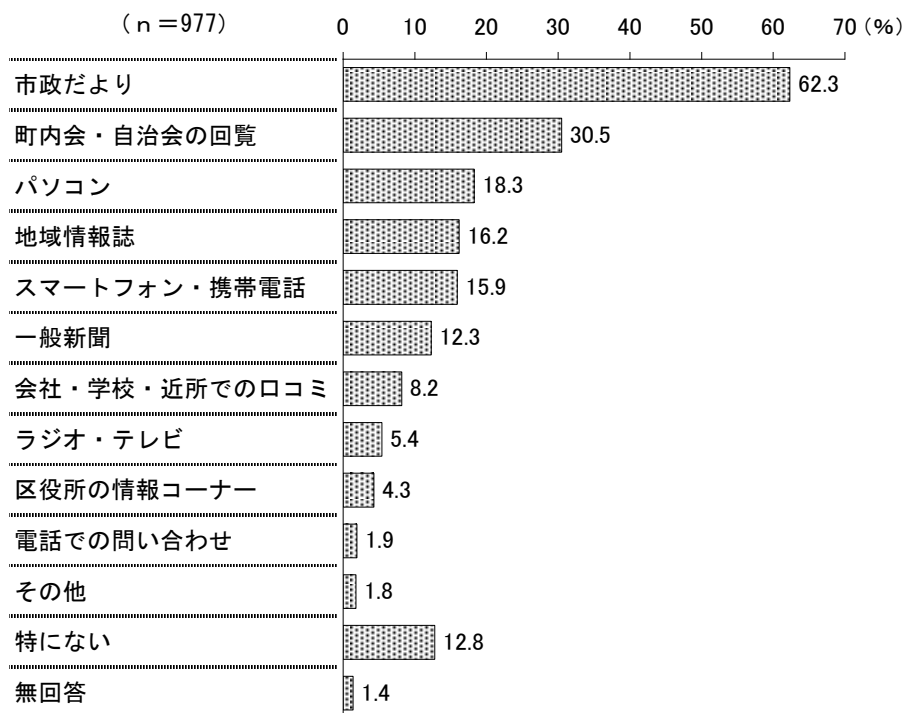
中原区の「イメージ」として何を思い浮かべるか聞いたところ、「等々力緑地」(60.1%)が約6割で最も高く、次いで「買い物に便利」(53.5%)、「交通網の発達」(48.8%)、「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」(35.7%)などの順となっている。



## 4. 中原区役所の広報

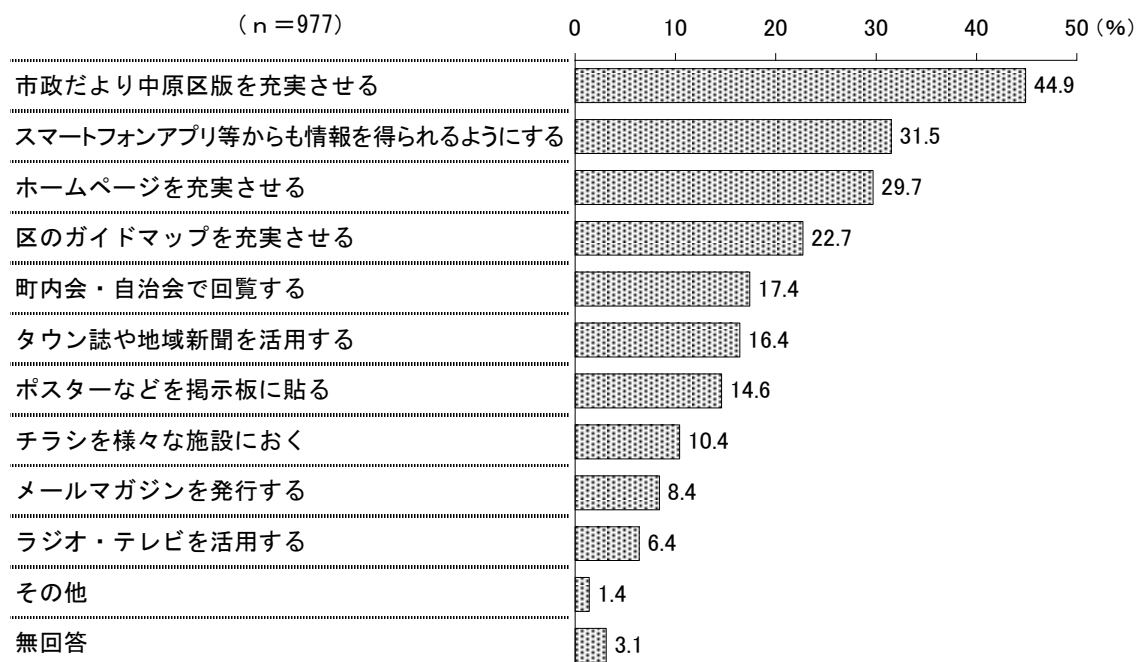
### (1) 行政・地域情報の入手方法

「市政だより」(62.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧」(30.5%)、「パソコン」(18.3%)、「地域情報誌」(16.2%)、「スマートフォン・携帯電話」(15.9%)などの順となっている。



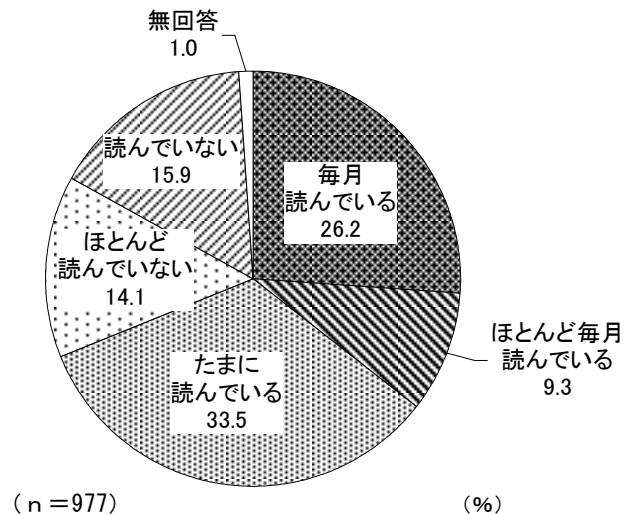
### (2) 充実してほしい行政・地域情報の提供方法

「市政だより中原区版を充実させる」(44.9%)が4割台半ばで最も高く、次いで「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」(31.5%)、「ホームページを充実させる」(29.7%)、「区のガイドマップを充実させる」(22.7%)などの順となっている。



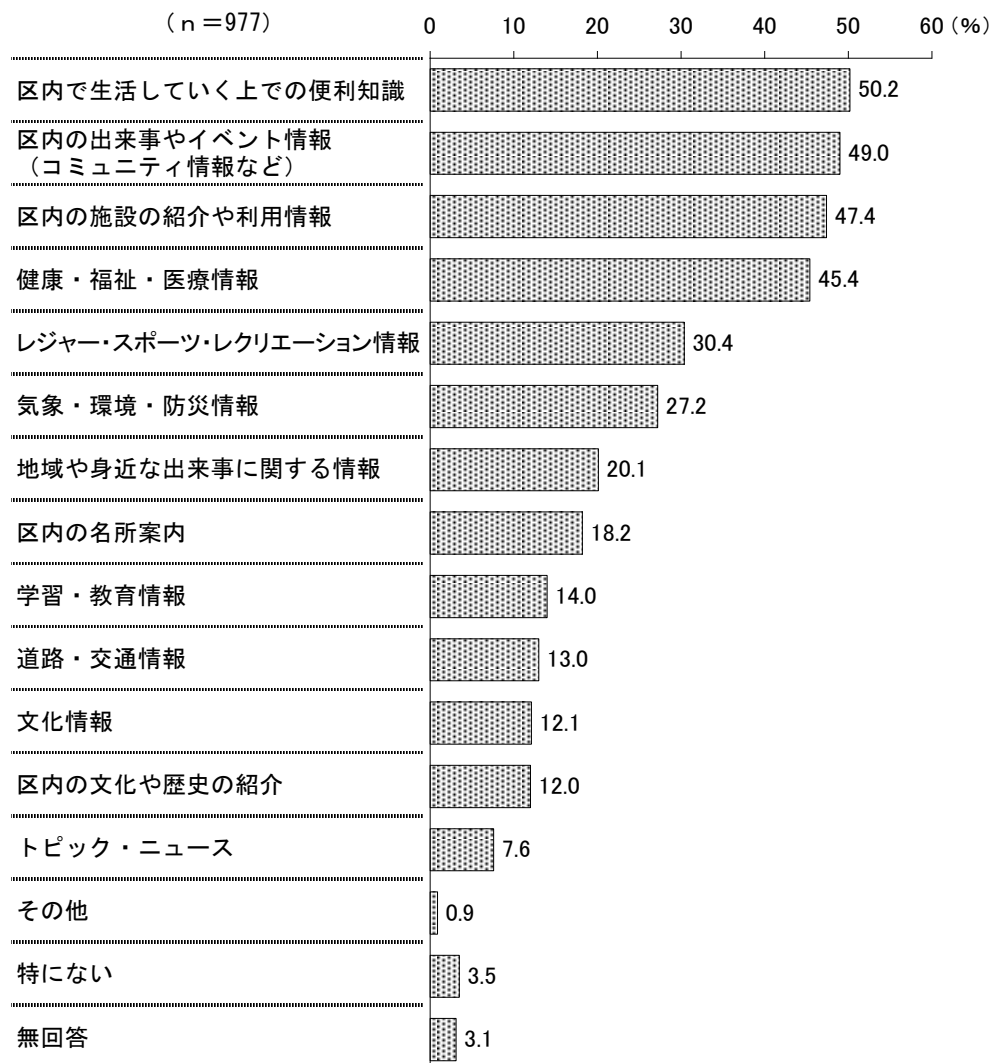
### (3) 「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況

「毎月読んでいる」(26.2%)が2割台半ばとなっている。「ほとんど毎月読んでいる」(9.3%)は約1割、「たまに読んでいる」(33.5%)は3割を超えており、「ほとんど読んでいない」(14.1%)と「読んでいない」(15.9%)はともに1割台半ばとなっている。



### (4) 充実してほしい行政・地域情報の種類

今後、区の広報を区民の情報源として活かしていくには、どんな内容に重点をおいていくのが良いと思うか聞いたところ、「区内で生活していく上での便利知識」(50.2%)が約5割で最も高く、次いで「区内の出来事やイベント情報(コミュニティ情報など)」(49.0%)、「区内の施設の紹介や利用情報」(47.4%)、「健康・福祉・医療情報」(45.4%)などの順となっている。

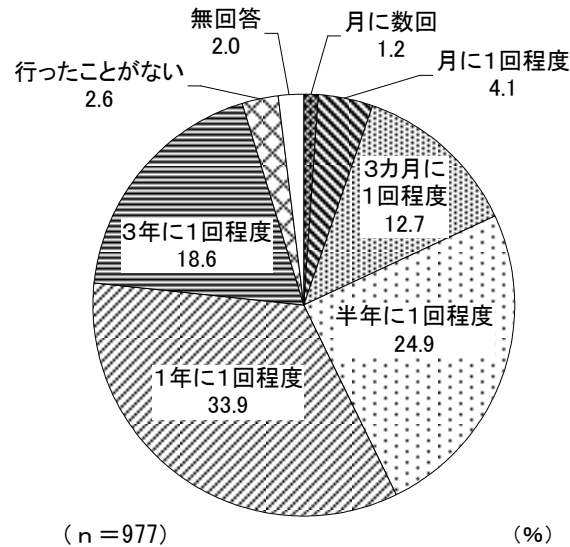




## 5. 中原区役所の環境

### (1) 中原区役所の利用頻度

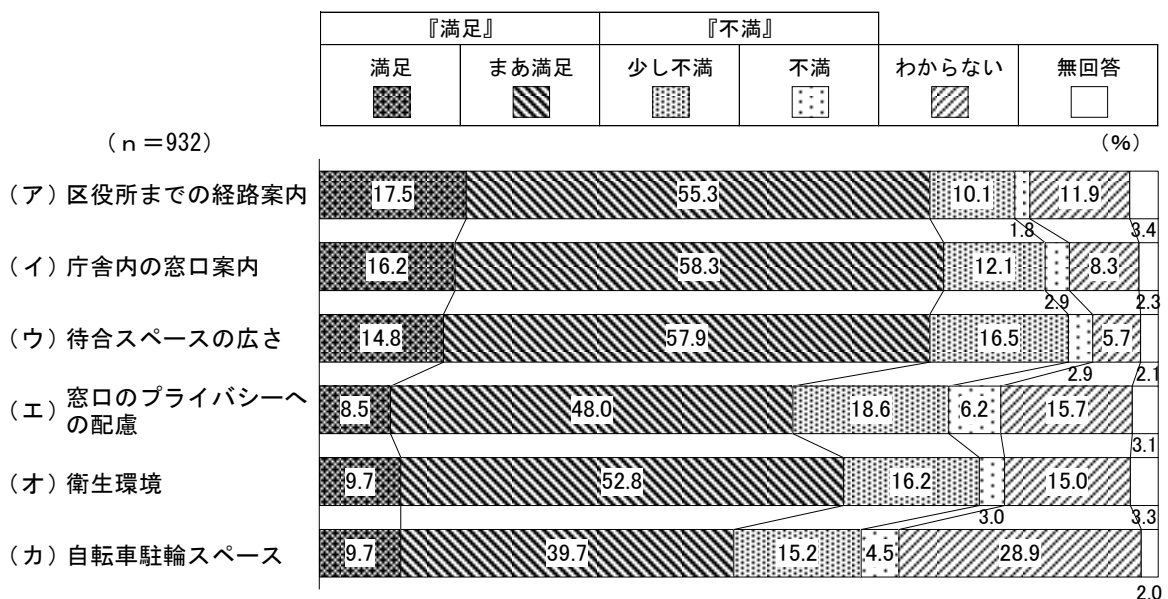
「1年に1回程度」(33.9%)が3割を超えて最も高く、次いで「半年に1回程度」(24.9%)、「3年に1回程度」(18.6%)、「3カ月に1回程度」(12.7%)などの順となっている。



### (2) 中原区役所の環境・設備の満足度

中原区役所の利用頻度で「行ったことがない」以外と回答した方(932人)に、中原区役所の環境・設備について6項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は(イ)庁舎内の窓口案内(74.5%)が7割台半ばで最も高く、次いで(ア)区役所までの経路案内(72.8%)、(ウ)待合スペースの広さ(72.7%)などの順となっている。

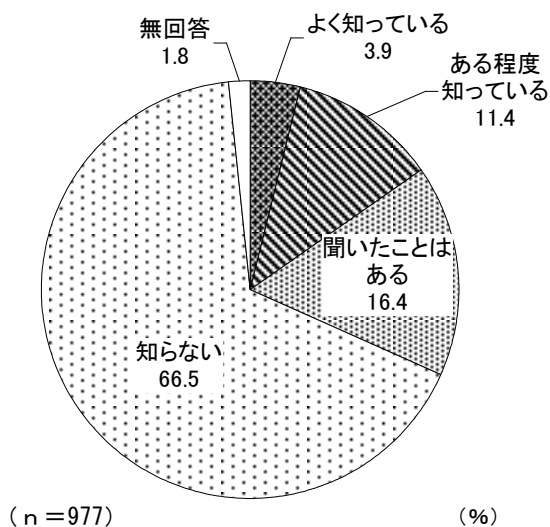
一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は(エ)窓口のプライバシーへの配慮(24.8%)が2割台半ばで最も高く、次いで(カ)自転車駐輪スペース(19.7%)、(ウ)待合スペースの広さ(19.4%)、(オ)衛生環境(19.2%)などの順となっている。



## 6. 地域包括ケアシステム

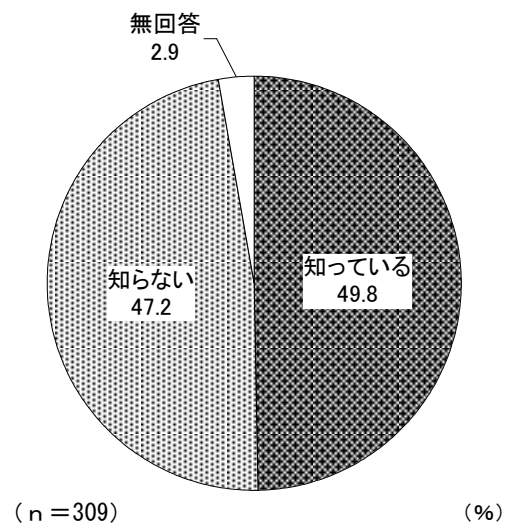
### (1) 「地域包括ケアシステム」の認知度

「よく知っている」(3.9%)と「ある程度知っている」(11.4%)の2つを合わせた『知っている』(15.3%)が1割台半ばとなっている。「聞いたことはある」(16.4%)は1割台半ばで、「知らない」(66.5%)が7割近くで高くなっている。



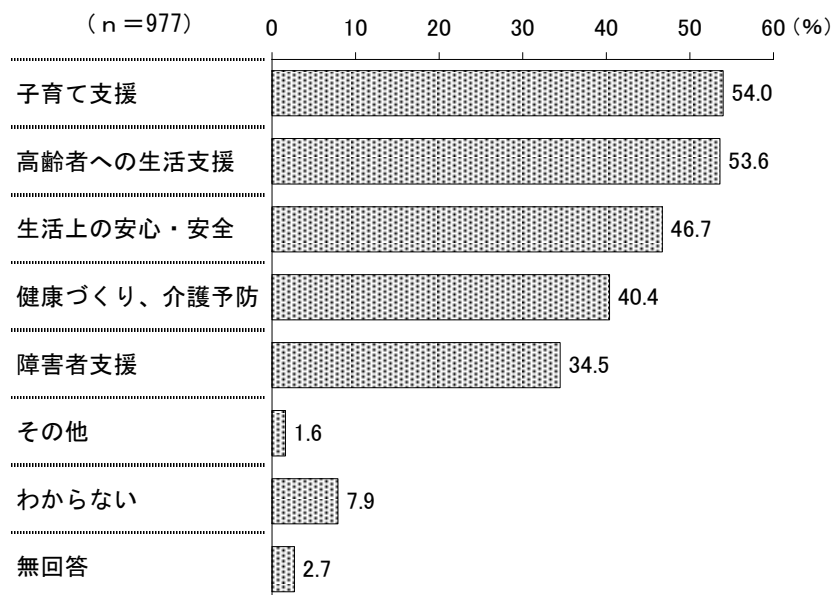
### (2) 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度

「地域包括ケアシステム」を「よく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことはある」と回答した方(309人)に、川崎市の地域包括ケアシステムは子どもから高齢者、障害者などすべての住民を対象としていることを知っているか聞いたところ、「知っている」(49.8%)が約5割となっている。



### (3) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

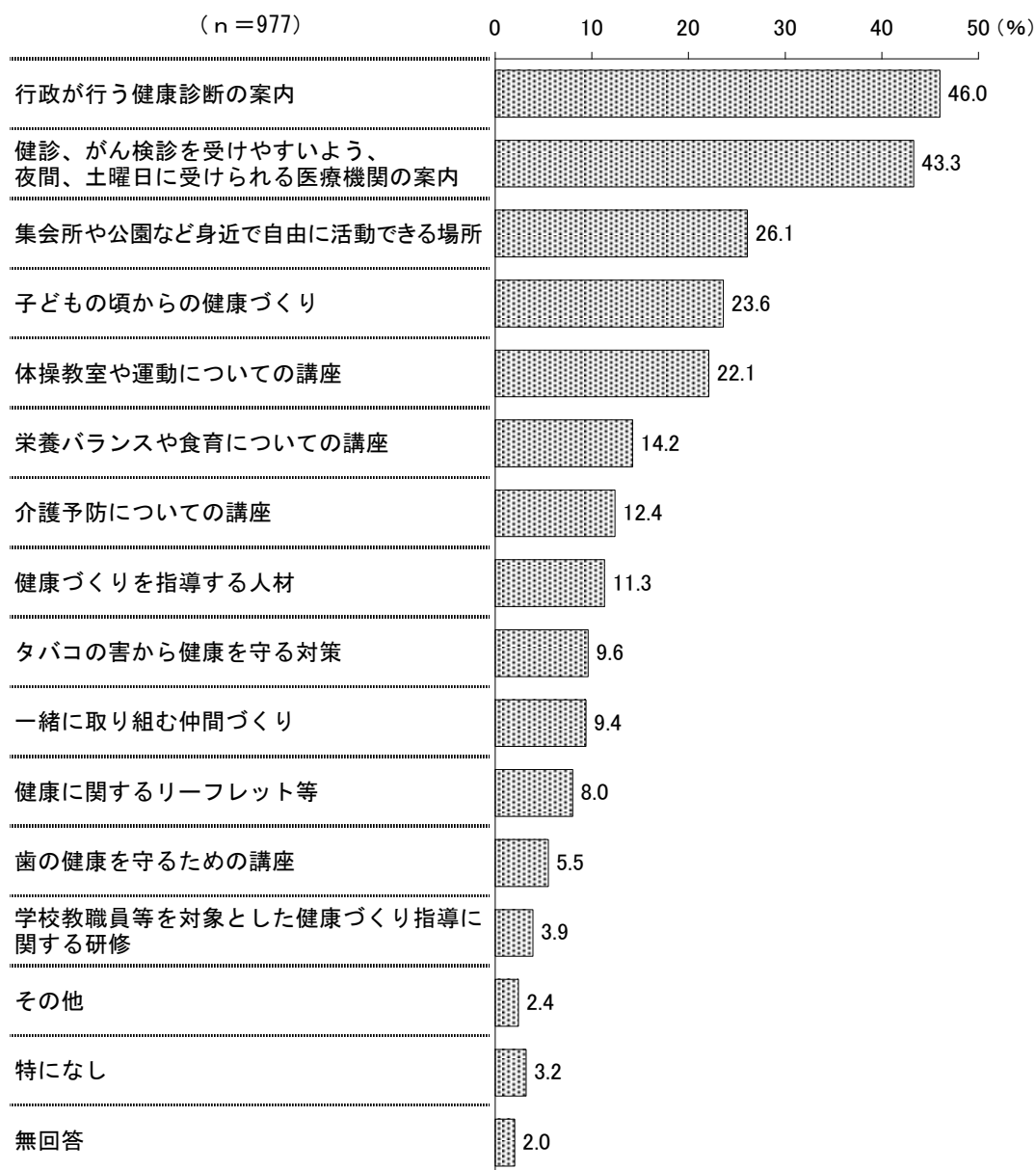
地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものを聞いたところ、「子育て支援」(54.0%)と「高齢者への生活支援」(53.6%)がともに5割台で高く、次いで「生活上の安心・安全」(46.7%)、「健康づくり、介護予防」(40.4%)、「障害者支援」(34.5%)などの順となっている。



## 7. 健康づくり支援

### (1) 健康づくりを推進するための区の取り組み

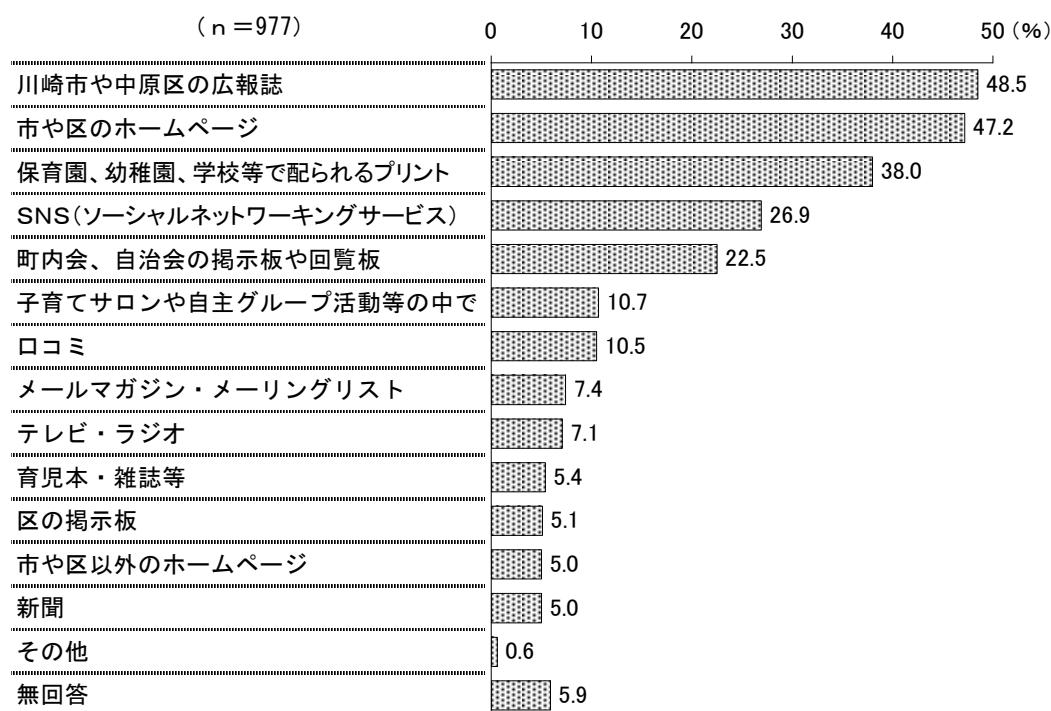
区民の健康づくりを推進していくためには、どのようなものを充実したほうがよいか聞いたところ、「行政が行う健康診断の案内」(46.0%)が4割台半ばで最も高く、次いで「健診、がん検診を受けやすいよう、夜間、土曜日に受けられる医療機関の案内」(43.3%)、「集会所や公園など身近で自由に活動できる場所」(26.1%)、「子どもの頃からの健康づくり」(23.6%)、「体操教室や運動についての講座」(22.1%)などの順となっている。



## 8. 子育て支援

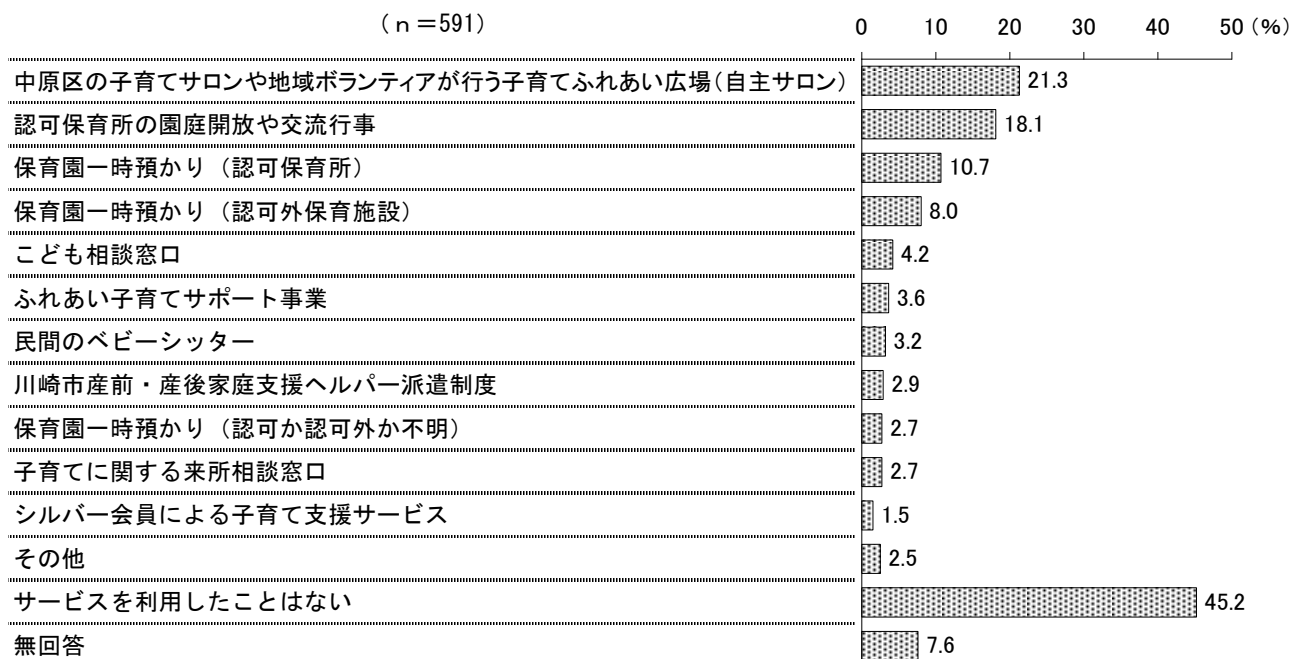
### (1) 子育て支援の情報提供に有効だと思う方法

「川崎市や中原区の広報誌」(48.5%)と「市や区のホームページ」(47.2%)がともに5割近くで高く、次いで「保育園、幼稚園、学校等で配られるプリント」(38.0%)、「SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(26.9%)などの順となっている。



### (2) 利用したことがある子育て支援サービス

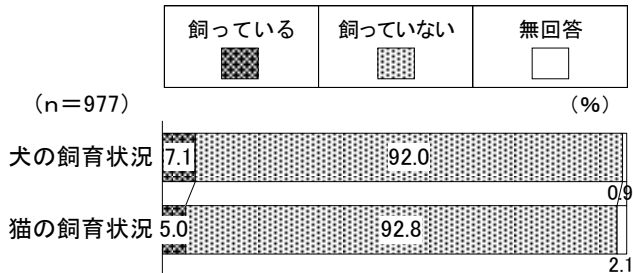
子育ての経験が「ある」と回答した方(591人)に、普段利用している、もしくは利用したことのあるサービスを聞いたところ、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場(自主サロン)」(21.3%)が2割を超えて最も高く、次いで「認可保育所の園庭開放や交流行事」(18.1%)、「保育園一時預かり(認可保育所)」(10.7%)などの順となっている。



## 9. 動物の適正飼育

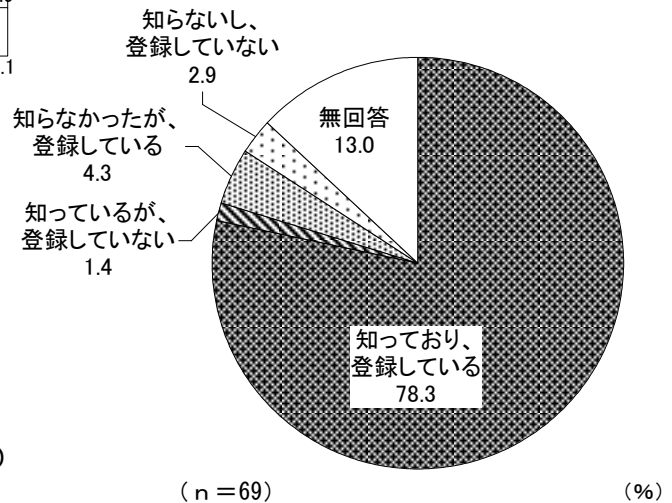
### (1) 犬や猫の飼育状況

現在犬を「飼っている」人は7.1%、現在猫を「飼っている」人は5.0%となっている。



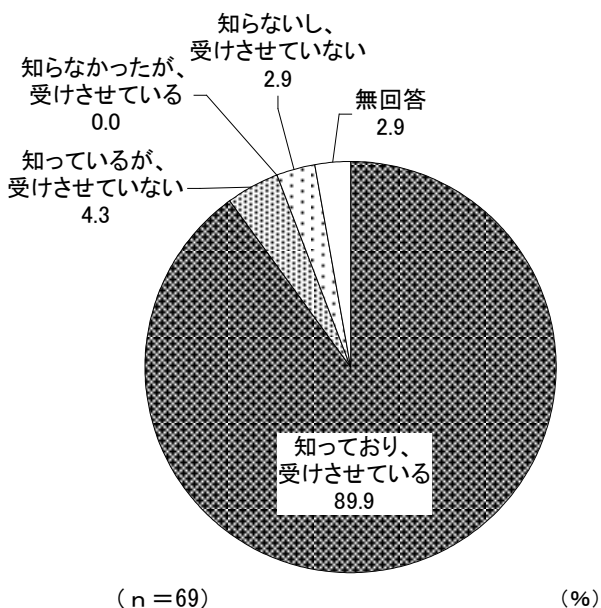
### (2) 飼い犬の登録義務の認知度・登録状況

現在犬を「飼っている」と回答した方(69人)に、犬の飼い主には、現在居住している市町村に飼い犬の登録をすることが法律で義務付けられていることを知っているか、また登録しているか聞いたところ、「知っており、登録している」(78.3%)が8割近くで高くなっている。



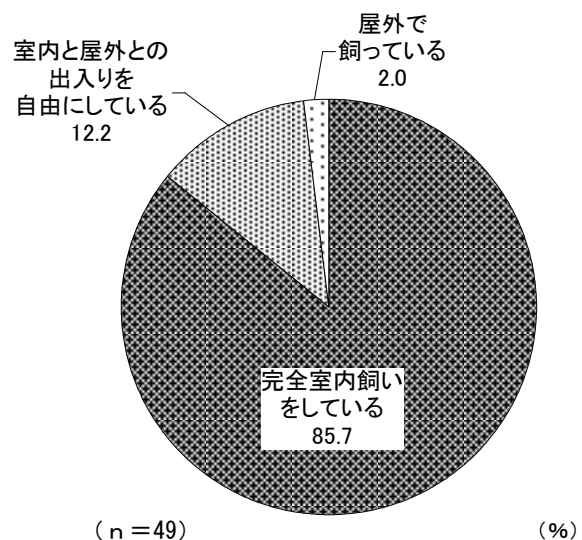
### (3) 年1回の狂犬病予防注射接種義務の認知度・接種状況

現在犬を「飼っている」と回答した方(69人)に、犬の飼い主には、飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが法律で義務付けられていることを知っているか、また予防接種を受けさせているか聞いたところ、「知っており、受けさせている」(89.9%)が約9割で高くなっている。



### (4) 飼い猫の室内飼いの実施状況

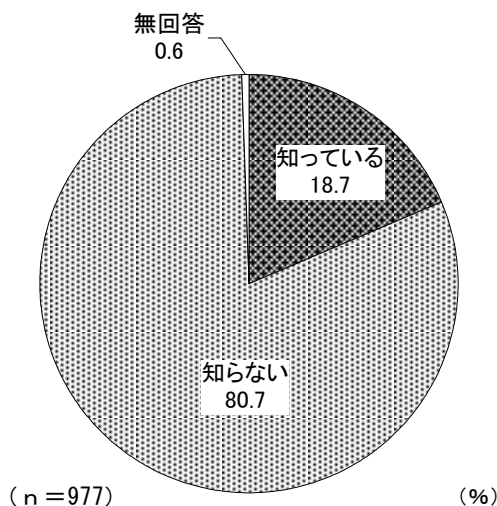
現在猫を「飼っている」と回答した方(49人)に、飼い猫を室内飼いでいるか聞いたところ、「完全室内飼いでいる」(85.7%)が8割台半ばで高くなっている。一方、「室内と屋外との出入りを自由に行っている」(12.2%)は1割を超えている。



## 10. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

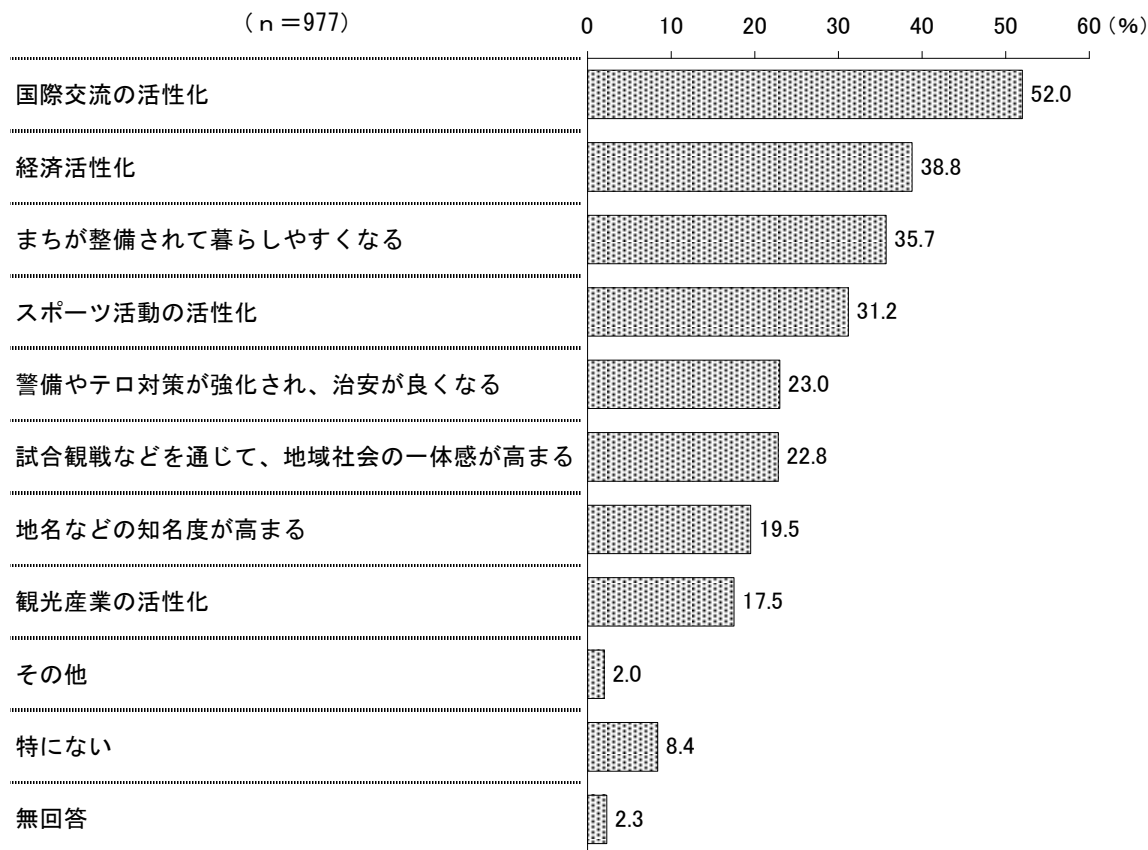
### (1) 区内の施設が海外選手団の事前キャンプに活用される予定があることの認知度

中原区では、等々力陸上競技場等の施設が海外選手団の事前キャンプに活用される予定があることを知っているか聞いたところ、「知っている」(18.7%)が2割近くで、「知らない」(80.7%)が8割を超えている。



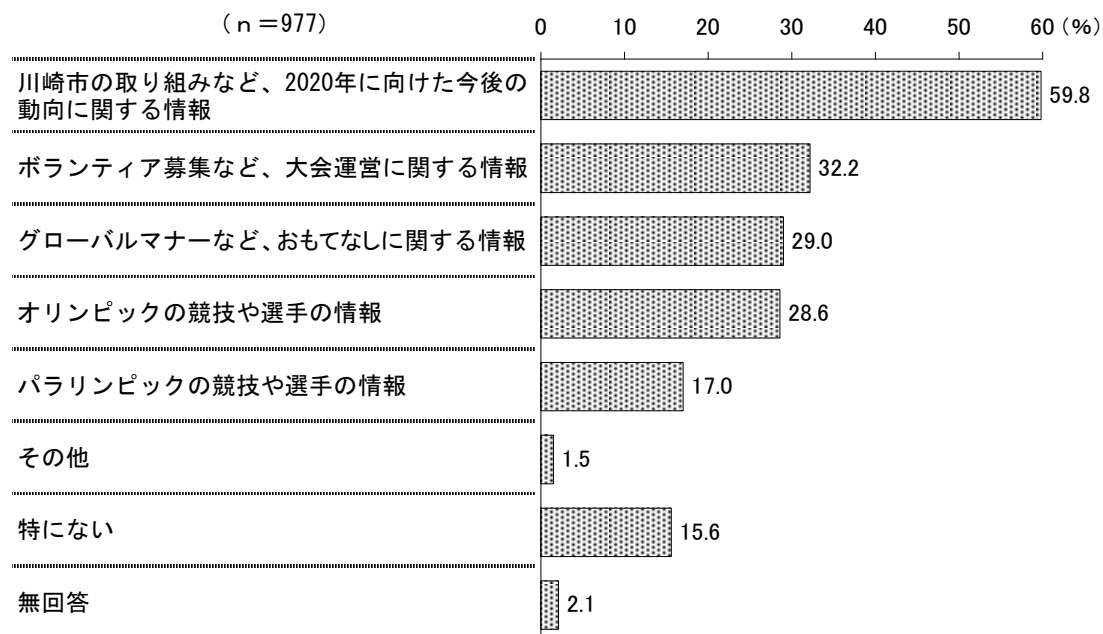
### (2) ホストタウンとしての取り組みが地域に与える影響として期待すること

川崎市がホストタウンとしての取り組みを進めることが地域に与える影響として、期待することはいくつか聞いたところ、「国際交流の活性化」(52.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「経済活性化」(38.8%)、「まちが整備されて暮らしやすくなる」(35.7%)、「スポーツ活動の活性化」(31.2%)などの順となっている。



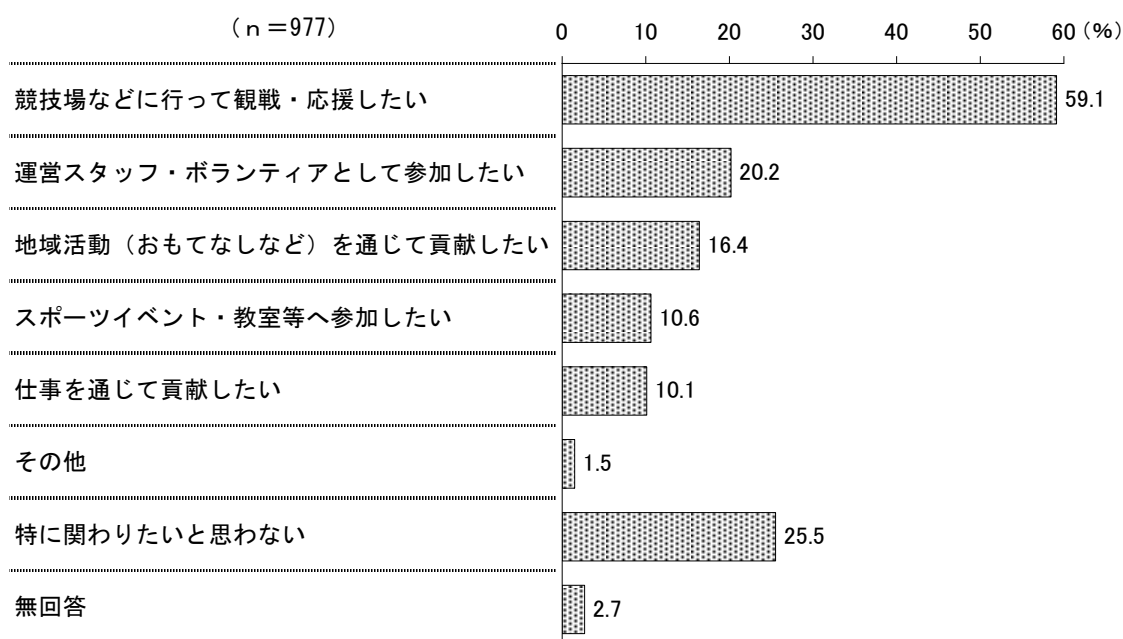
### (3) 東京大会の開催について今後知りたいこと

「川崎市の取り組みなど、2020年に向けた今後の動向に関する情報」(59.8%) が約6割で最も高く、次いで「ボランティア募集など、大会運営に関する情報」(32.2%)、「グローバルマナーなど、おもてなしに関する情報」(29.0%)、「オリンピックの競技や選手の情報」(28.6%)などの順となっている。



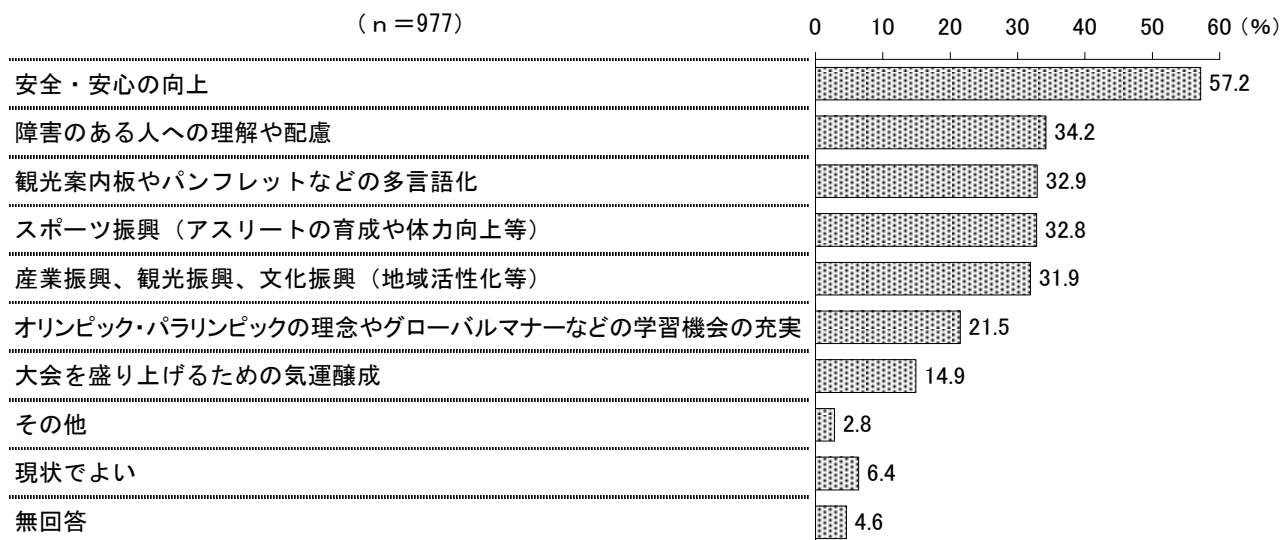
### (4) 東京大会に対しての関わり方

東京大会に対して、どのような形で参加したいか聞いたところ、「競技場などに行って観戦・応援したい」(59.1%) が約6割で最も高く、次いで「運営スタッフ・ボランティアとして参加したい」(20.2%)、「地域活動(おもてなしなど)を通じて貢献したい」(16.4%)などの順となっている。



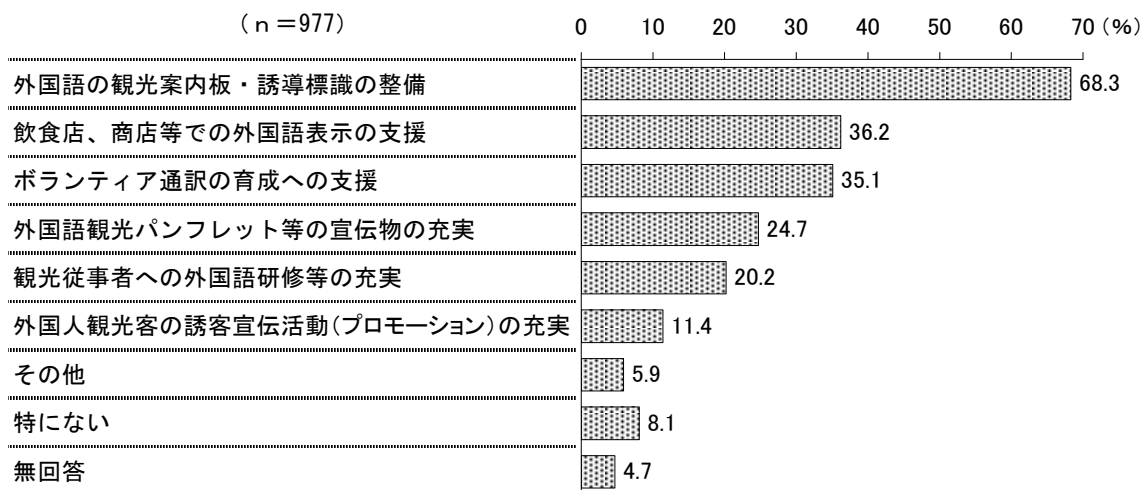
### (5) 東京大会に向けて力を入れていくべき分野

「安全・安心の向上」(57.2%) が6割近くで最も高く、次いで「障害のある人への理解や配慮」(34.2%)、「観光案内板やパンフレットなどの多言語化」(32.9%)、「スポーツ振興(アスリートの育成や体力向上等)」(32.8%)、「産業振興、観光振興、文化振興(地域活性化等)」(31.9%)などの順となっている。



### (6) 東京大会に向けた外国人観光客の増加傾向に対する区の取り組み

「外国語の観光案内板・誘導標識の整備」(68.3%) が7割近くで最も高く、次いで「飲食店、商店等での外国語表示の支援」(36.2%)、「ボランティア通訳の育成への支援」(35.1%)、「外国語観光パンフレット等の宣伝物の充実」(24.7%)、「観光従事者への外国語研修等の充実」(20.2%)などの順となっている。



## 中原区区民アンケート 概要版

平成28年9月

川崎市中原区役所まちづくり推進部企画課

電話 (044) 744-3149

川崎市中原区小杉町3-245

FAX (044) 744-3340